

しんどうが、あおでもよくみる、みぎひだり
春の全国交通安全運動街頭パレードの実施

交通安全知識の普及と、交通安全思想の高揚を図ると共に、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づけ、交通事故防止の徹底を図ることを目的として、4月6日に春の交通安全運動街頭パレードが開催されました。

開始式では、清水小学校の新1年生の東里健臣さんと仲宗根奈央さんが交通安全の誓いの宣言を行い、浜川交番所長からは、「すでに小さい子どもが巻き込まれる事故も発生しており、交通ルールをしっかり、守ることが大切です」と呼びかけました。



おもいきりの良さが評価されました
第13回全日本年賀状大賞コンクール版画部門文部科学大臣賞受賞

全ての世代の方々に、年賀状作成を通じて「手紙の良さ」に気付いていただくこと及び楽しく個性豊かな年賀状づくりを勧奨することを目的として開催されている「第13回全日本年賀状大賞コンクール」にて清水小学校5年生の稲嶺奈々さんが版画部門の応募作品2,469点の中から見事、文部科学大臣賞を受賞しました。

稲嶺さんは、「作品は、授業時間内で、仕上げる事が出来た。干支のサルの顔を目立たせたかった」と話し、ハガキいっぱい

に力強く書かれた原画を見せながら、受賞の喜びを話してくれました。



今年度末はさらに基金アップ
久米島美ら海環境基金贈呈式

美しい海で育てられる久米島のもずくを守ることを目的とした「久米島美ら海環境基金」の贈呈式が、4月8日、仲里庁舎で行われ744,522円が贈呈されました。

今回の基金総額は、昨年度末に比べ140%の伸びとなりました。

この基金は「大阪いずみ市民生協」と「わかやま市民生協」の共同購入と店舗での久米島産もずくの売り上げ1点につき3円を、製造先である「(株)海産物のきむらや」で積立ててきたものです。海岸の漂着ゴミの除去、海への赤土流出を防止するためのベチバー植栽など、久米島の環境保全活動に使われます。

西銘老人クラブ・球美の里の子どもたちと交流
球美の里55次保養の子ども達46人

3月23～4月1日の間、55次保養の子ども達、46人の小・中学生が福島より来沖し、10日間、球美の里に滞在しました。3月27日、西銘老人クラブの皆さんが訪問し、手作りの竹とんぼとコマを寄付しました。

沖縄で馴染みのある赤瓦を削り作ったコマと、久米島で取れた竹で作った竹とんぼに子ども達は大喜びでした。初めて遊ぶ子も多く、最初は慣れない手つきでしたが、皆さんに遊び方を優しく教えていただき、一緒に思いっきり遊び、交流しました。

また子ども達から、感謝の気持ちとして、球美の里特製の月桃茶とアップルパイでおもてなしをしました。愛情のこもったコマと竹とんぼは、大切な思い出とともに、福島に持ち帰りました。



クルーズ客船「にっぽん丸」久米島初寄港

クルーズ客船「にっぽん丸」が4月9日、久米島に初寄港しました。今回は那覇泊バスを出発し、西表と久米島の観光を楽しむ3泊4日のコース。仲里漁港沖に停泊し、通船にて久米島へ上陸した後、バスやタクシーなどのオプションツアーなどで島内観光を楽しんでいました。仲里漁港では歓迎イベントのほか、特設物産販売会を開催、また初寄港記念として「にっぽん丸」船内において行われた歓迎セレモニーでは、酒井機関長ほか2名に花束を贈呈し、記念品の交換を行いました。



災害時をテーマに身近なもので自由研究
全国学芸サイエンスコンクール審査委員特別奨励賞受賞

全国の小中校生の研究・アートおよび文芸の振興奨励と、青少年の個性の育成を目的に開催されている「第59回全国サイエンスコンクール」にて、大岳小学校5年生の中村青空さんがサイエンス分野で13,984点応募がある中、審査委員特別奨励賞を受賞しました。

災害時に身近なもので強く発電できるものは何かというものをテーマとし、夏休みの自由研究をしました。

6月後半から実験をはじめ、細かく研究ノートも残し、先生方の指導の下、レポートを仕上げ、大人顔負けの研究発表作品でした。大田町長は、「ぜひ、海洋深層水も研究材料にしてみたらどうか」とアドバイスをし、中村さんは、「研究をやってよかった。来年も続けて、次は、1位を目指して頑張りたい」と意気込みを語りました。



やってきたぞ！新機種！
RAC新機種「DHC8-Q400CC」お披露目

4月15日久米島空港において琉球エアコミューター新機材「DHC8-Q400CC」初便就航記念の歓迎セレモニーが行われました。初就航の午前8時50分久米島空港着RAC873便を迎えるため久米島空港には、桃原副町長をはじめ観光協会比嘉会長など関係者がかけつけました。空港消防車の放水アーチの中をくぐって到着した同機を横断幕で歓迎し、観光レディーより機長と副機長に花束を贈呈しました。

今年も夏がやってくる！
海開き・ビーチテニスイベント

4月3日、シンリ浜、イーフビーチにおいて海開き祈願祭が行われました。大田町長はじめ、観光協会比嘉会長など関係者が参加し1年間の海の安全を祈り、海開きを宣言しました。またイーフビーチでは、海開きイベント「ビーチテニス大会」(町観光協会青年部主催)が開催され、12チーム約100人が参加。最年少8歳、最年長71歳と子どもから大人までサラサラの白い砂浜でビーチテニスを楽しみました。

